

鯉つがみでは、プールに鯉を放ち捕まえます。この経験を経てこのぼり作りにつながっていきます。当園では元気に大きくなつたことの喜び、これからたくさん大きく元気に成長することを願っています。本物の鯉に触れ、元気のいい鯉をまるごと感じ、みんなと協力してひとつの大きなこのぼりになるのです。作ったこのぼりは色彩豊かに大空に舞います。



### 子どもの日の会

子どもの日には... 鯉つがみ 鯉さばき このぼり作りがあります!

子どもの日の由来を知る  
生きている魚に触れ 姿・形だけでなく 鱗の感触などを直接感じる  
鯉をさばき食べること命をいただくことの 意味を知る

### 行事



【活動】  
鬼のお面作り  
色んな素材を使い鬼のお面を作ります。出来上がると早速自分で仮り、他のクラスに子鬼達が向かいます。  
火焼い嗅がし  
炙ったワラの頭と しいらぎの葉をワラに飾ります。

中国から伝わった女の子の節句です。身代わりの小さな人形を作って、それが災いを引き受けてくれると考えられていました。その人形に感謝と供養の気持ちを込めてご馬走をしたのが始まりです。『ひな祭りをお祝いする』ひな祭りの由来を知ることを目的とし、女の子の成長を願い、手間をかけて餅から鯉あられと菱餅を作ります。実際に皆で炒たあられは格別です。ワラで色鮮やかな素直な蜀山人形の製作を行い、行事に向けて期待を膨らませています。

### 節分

“季節の分かれ目”という意味で、冬が終わって春になりまた1年が始まるということで古くから大切にされてきました。  
【豆まき】大豆には、『穀物の霊』が宿っているとされ、その力が悪い物を追い出すと昔の人は考えていた。「鬼は外 福は内」と唱えながら豆をまき、その霊力が宿っている大豆を食べて1年の無事を祈るということを大切にしています。

### 年長行事

- お泊り保育 6月**  
親元を離れて、生活する不安や寂しさを乗り越え、自立と自信が育つこと大きな自信が育つ心の成長にも繋がる。
- 糸糸編み 8月**  
自分で使う糸糸が自分で糸編んでいく。3mのものを子どもが糸編むのは大変な集中と根気が必要ですが出来上がった時の喜びはひとしお。跳べうまになつたこと「頑張ろう」という気持ちに繋がる。
- 味噌作り 1月**  
普段口にする食材が出来上がるまでの過程を知り、来年度完成に期待を持つ。
- 七福神巡り 1月**  
一年間の無事を福神に祈る。就学に向けて長い距離を歩く。
- 山登り 6月**  
汗を流し苦勞して登った時の達成感、子どもたちのその後においも大きな自信になる。
- 交流 通年**  
たつ子、しらぬみどり保育園(法人内)の同年齢の子と交流をする。

**0歳からパンツ**  
今の時代、糸糸ムツは何度もおしこしても漏れずに吸水小生もよく「肌はサラサラ」を売りにして、とてもよく出来ています。これ、ありません。金銭感部分だからこそ「冷めた」歩行が安定したら「パンツ生活」を子どもの成長発達から考えてみてどうなのだろうという感覚刺激になり、それと同様に冷めたためではなく、子どもたちの発達のためではなく、子どもたちの発達のためと活発な運動を保障することを何よりも大切に考えています。

### 食から学べることは無限大

生きるうえで食べることは欠かせない。生活のなかで自然と食を学ぶ。食生活環境や、食事情はめまぐるしく変化しています。食べる事を見つめ直し、学んでいく事は、大きな意味があるのです。



【食べる】とは...  
食事は生きる上で欠かす事のできない物です。しかし、それは出された物を口に運び栄養をとるための時間では ありません。楽しい雰囲気の中で、美味しく食べられる事が大切なのです。

# 食べるって何?

### 「食べる」とは...

食事は生きる上で欠かす事のできない物です。しかし、それは出された物を口に運び栄養をとるための時間では ありません。楽しい雰囲気の中で、美味しく食べられる事が大切なのです。



みんなにとって食事の時間が  
幸せな時間であらうように!!

今年、  
生命(いのち)に  
角虫水る

うわあ!!にげた!

魚里ってすずすずなの?  
ツルツルなの?

【行事食】  
1 正月料理や離れ祭りなどのお祝い  
2 節分の豆まきなどの魔除けを目的としたもの  
3 旬の食材を食べることでその食材の力を体に取り入れる

行事食にはその季節の食材がふんだんに使われており、『食べる』その行為そのものが、言葉にできない。

【行事食】  
春: 草もち、魚里のあられ、  
夏: じゃがいも、  
秋: さけ まり、サマ パーティ、  
冬: ねほくさお粥、ふしまき

【行事食】  
春: 草もち、魚里のあられ、  
夏: じゃがいも、  
秋: さけ まり、サマ パーティ、  
冬: ねほくさお粥、ふしまき